

東京都医学総合研究所 人対象研究に係る公開事項

研究課題	名称	各種遺伝子多型が麻薬性鎮痛薬の鎮痛効果と副作用に及ぼす影響に関する臨床的研究
	目的	本研究は、麻薬の感受性に影響する遺伝子多型を明らかにすることを目的として、ゲノムワイド関連解析研究(genome-wide association study: GWAS)を施行する。方法の概要としては、腹腔鏡補助下大腸切除術を受ける患者を対象として、術中のレミフェンタニルの鎮痛効果、術後のフェンタニルの鎮痛効果と副作用の指標と、全ゲノム領域遺伝子多型解析結果との関連を検討することにより、術中術後の麻薬の鎮痛効果や副作用発生に影響を与える遺伝子多型を見出し、検討する。
	実施期間	2022年4月1日から2028年3月31日まで
研究責任者 (試料・情報の管理責任者)	職・氏名	東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト 参事研究員 池田 和隆
	連絡先	156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6 東京都医学総合研究所 Tel: 03-5316-3100 E-mail: ikeda-kz@igakuken.or.jp
研究対象者		属性等: 全身麻酔下で腹腔鏡補助下大腸切除術を受け、術後に静脈内フェンタニルの患者自己疼痛管理法(Patient-controlled analgesia: PCA)による術後痛管理を受ける患者のうち本研究への参加に同意した患者。(選定基準) ・20歳以下の患者は除外する。また、心・腎・肝・血液疾患などの重篤な合併症を有する患者を除く。理解力の不足などから、PCAポンプを満足に使用できない可能性のある患者も除く。(除外基準)
試料・情報	取得の方法	本研究課題において、上記選定基準該当者を対象として取得。
	利用目的及び利用方法	利用目的: データ解析 利用方法: DNAサンプルを用いて同定された単塩基多型(SNP)等バリエーションと臨床データ情報との関連性の解析
試料・情報の他機関への提供の有無		あり ・ な し
「あり」の場合: 機関の名称及びその長の氏名)		国立精神・神経医療研究センター (精神保健研究所) 張 賢徳
利用し、又は提供する試料・情報の項目		試料の項目: DNAサンプルを用いて同定されたバリエーションの遺伝子型データ 情報の項目: 鎮痛・疼痛感受性等関連データ情報
利用する者の範囲	研究機関	東京都医学総合研究所
	研究責任者	池田 和隆
	研究機関	国立精神・神経医療研究センター
	研究責任者	西澤 大輔
	研究機関	
利用又は提供の停止		研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料情報の利用又は他の研究機関への提供を停止します。
(受付方法)	郵送	156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6 東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト 参事研究員 池田 和隆
	メール送信	ikeda-kz@igakuken.or.jp
	研究所窓口	156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6 東京都医学総合研究所
	電話	03-5316-3100
研究計画書等の入手又は閲覧		研究対象者又はその代理人の方は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。
(入手・閲覧の方法)		上記(受付方法)に記載の各連絡先へご相談ください。
個人情報の開示手続及び手数料の額		「公益財団法人東京都医学総合研究所個人情報の保護に関する規程」の定めるところによります。
研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応		本課題の研究責任者(池田 和隆)あてお問合せください。